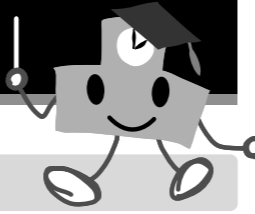


小学校の事例 南区 南小学校

PTAの協力による資源回収。収益金で本を購入し、学級文庫が充実。

地域で取組む牛乳パックリサイクルと資源回収で本を購入。朝読書の本の材料である紙や原料である木の大切さについても考えるように。子どもの自発性や環境意識の向上に結びついている。



内容 PTAが中心となり 地域での回収をスタート

本校では、二つの資源物回収を行い、収益金を学校図書室の書籍購入に充てている。一つは牛乳パックのリサイクルで、各学級のリサイクル係の児童が100枚ずつにまとめ、回収している。もう一つは資源物回収で、大抵の地域では町内会が主体となって行っているものを、小学校が一手に引き受けている。

この資源物回収には、学校に児童を通わせている家庭だけでなく、地域全体が「小学校のために」という気持ちのもと取組に協力してくれている。これまでも校庭の遊具に還元することはあったが、今年度は市の教育プログラムである「読書」がきっかけとなり、PTAの話合いの中で「収益金を使って、学校の図書室の本をもっと充実させよう」ということになった。

この活動の収益金で学級文庫のための本、約450冊を購入することができた。



牛乳パック回収の様子

効果 本を大切に作る心から 物を大切に作る心へ

好きな本を選んで進んで読書に取り組む全学級での「朝読書」のようすを見ると、本の数や選択肢が増えたことで、子供たちの読書への関心はますます高くなった。

また、今年度から、もっとリサイクルに取り組むため、各クラスで1名の環境係を選出。牛乳パックをリサイクルに出すため、パックを開いて洗い、干して束ねる作業を周知徹底し、リサイクルへの意識を全員がもてるようPRする活動を行っている。こういった活動からも、子供たちはリサイクルの意味を理解し、本を大切に作るだけでなく、本の材料となっている「紙」そのものや「木」の大切さを意識するようになっていく。



学級文庫

こういった活動から、児童全体がエコやリサイクルに興味をもち始めていると感じる事例があった。3年生の児童が、フリーペーパーの「エコチル」から着想を得て、学校にある色画用紙の残りをを使った工作イベントを職員室に提案。学校で募った参加者5~6名が学校近くの公園に集まり、画用紙に落ち葉をはった絵を作った。余ったものを上手に活用する術を、子どもが自発的に考え、提案、実行している姿を目にすると環境について本当に一人一人真剣に取り組むことが身に付いてきていると実感する。



購入した本

今後 リサイクルに向けたさらなる取組がスタート

本校では、PTAのスキーリサイクル係の保護者を中心に、スキー学習で使用するための「スキーリサイクル」を行っている。これは、サイズが合わなくなるなど不要になったスキーを学校に持参してもらい、保護者が学校に来る参観日などに無料で提供する取組だ。来年度は、この係の「スキー」をはずして「リサイクル係」として活動できるよう計画を進めている。

町内会では公園の落ち葉を拾い集めて焼き芋を食べる「やきいもの会」が開催され、町内会の方と学校の子供たちが一緒に参加できる、よい交流の場となっている。また、本校はたくさんの町内会がある中で唯一の学校という事情もあり、学校での活動に協力してくれる方がとても多い。

本校は藻岩山、豊平川に近く、環境を考えるよい素材に恵まれている。子供たちの身近にある小さな発見を、より広い視野へつなげて環境を守るための行動を起こしていけるよう指導していきたい。



「ゆずって」ください・「ゆずって」あげますコーナー

広げよう つなげよう 環境学習の輪

実施校からメッセージ

学校のために活動して下さって、実際に本の購入や運搬に携わってくれた方々に感謝の気持ちを伝える機会をつくっていきたくと思っています。